

庁舎改築周辺整備事業の今後の方向性についての意見一覧

カテゴリー	番号	上段（これまでの設計事業者と事業の見直しを行うことについての意見） 下段（庁舎改築周辺整備事業全般についての意見）	町の考え方
設計事業者を見直すこと自体について	1	<p>・設計者の継続に賛成</p> <p>・私は美術の仕事をしており、多くの美術家、建築家と交流してきた。これだけの設計者を勝ち抜く設計者選定プロポーザルの労力はいかほどのことであったか想像すれば当たり前のこと。他の案を含めて、参加者を愚弄する行為。</p> <p>・国立競技場など、やり直した例はあるが、文化芸術の世界を愚弄した行為。</p> <p>多くの設計者が参加する1度目のプロポーザルに対して、2度目のプロポーザルへの参加者が常にほとんどいないのが世の常。より政治的なプロポーザルとなる。</p> <p>・すでに発表されている1次審査通過7案のアイデアを全く使用しないプロポーザルは不可能。</p> <p>・見直し案での作業は、説明会を見る限り、現設計者が作成したと見える。この時点で、行政が民間をタダ働きさせる犯罪行為ではないのか？8月に設計者継続の発表を行い、その後このような見直しを問うこと自体、さらに非常識なことと考え、猛省を望む。</p>	<p>今回のパブリックコメントは、住民との合意形成を大切にし、しっかりとしたプロセスを踏んで進めていくとの考えに基づいて行ったものですが、貴重なご意見として承ります。</p>
	2	<p>地区の回覧物で本件意見募集のことを知りましたので、町HP掲載の第2回委員会動画を拝見し、それを踏まえて、私見を申し上げます。</p> <p>① 今回動画配信された委員会に、当該設計事業者を招き、プレゼンテーションをさせたことは、この設計事業者に対してとても失礼なことであったと思います。私は、町民の一人として、このことを残念に思いました。</p> <p>② 今回の委員会の主要議題は、「これまでの設計事業者と共に見直していくこと」についての可否検討ですが、言い換えれば、本事業の見直しに当たり、当該設計事業者を「解任」することの是非を問うものといえますね。</p> <p>本事業が見直しに至った理由は、言うまでもなく町長選挙結果にありました。これまで、この事業を先頭に立って推進してきた前町長に対して、その事業内容の詳細を知った町民から疑問の声が出始め、これを受けて3人の対立候補がそれぞれこれまでどおり本事業を進めることに反対し、これを公約として選挙戦を戦いました。</p> <p>結果、前町長の得票率は26.9%となり、対立候補のどなたが当選したとしても、本事業の見直しは必須のこととなりました。</p> <p>当選した土屋新町長は、民意を受けて、当然のこととして本事業の凍結と見直しを、公約通り実施したわけです。</p> <p>ここで、考えなければならないのは、本事業が見直しに至った責任は一体どこにあるかということです。前町長は、選挙戦に敗れるという形で、その責任を取ることとなりました。では、前町長以外に責任を取らなければならない人はほかにいないのかということになります。本事業は、町の多くの職員が参画して進められたことと思いますが、新聞報道によると、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本方針や計画を町総務課が作成 ・18名の検討委員会が議論 ・全町議会議員による庁舎検討特別委員会が議論 ・8名のプロポーザル委員会が設計案を審査・決定 <p>とあります。</p> <p>藤巻前町長は、退任に際して、本事業が心ならずも選挙の争点のひとつとなり、自身の敗因となったことについて、「行政として情報発信不足だった一語に尽きる」と語ったと報道されています。</p> <p>もしそうであれば、前町長にすべての責任があるわけではなく、町の行政担当者が負わなければならない何らかの責任があるはずですが。</p> <p>しかし、今回公開されたビデオの前半の事務局からの説明を見ても、これについての言及はなく、設計事業者を「解任」するかどうかが議題になっています。</p> <p>もし、今回の設計事業者との契約を町側の都合により解除するならば、本事業が見直しに至ったことによる責めは、結果的に、前町長と設計事業者の2者だけが負い、その他の関係者の責任は問われないこととなります。設計事業者には、なんら責任がないにもかかわらず。</p> <p>こんなことが、あっていいわけはありません。</p> <p>③ 今回の委員会において、冒頭の事務局からの説明の中で、設計事業者との間で交わされた契約があることが示されました。その契約の内容については知ることができないのですが、契約解除についてどのように記されているのでしょうか。このことをご説明いただかなければ、町民は意見を求められても、正しい判断ができないのではないのでしょうか。</p> <p>④ 第2回庁舎改築周辺整備事業推進委員会は約2時間にわたり行われましたが、1時間が設計事業者によるもので、35分強が事務局によるものでした。残る25分程度が委員に与えられましたが、設計事業者の「解任」の是非に関する議論はさらに少ないものでした。議長が最後にまとめられたように、「ご意見をお伺いしている限り、ちょっと、A委員からちょっと厳しめの意見がありました。ま、大きくは、えっと、続けていく方の意見の方が多い状態だったとは思いますが。」ということでしたので、設計事業者に引き続き依頼するのを是とする意見が多かったと言えのですが、議論はやや散漫なもので、本事業計画の見直し内容に関するものが多く含まれていました。</p> <p>こうした議論を目の前で聞かされた設計事業者の気持ちを考えると、私はいたたまれなくなります。今後、軽井沢町や関係者のことを、信頼できる相手として設計事業者がとらえ、良好な関係を維持しつつ、見直し作業を推進していけるかどうか心配です。</p> <p>⑤ 町民として考えますと、今回の凍結・見直しの方針を受けて、町側としては先ず設計事業者に、（資材や人件費高騰のことは別の問題です）こうした事態に至ったことをお詫びした上で、今後の見直し作業に従来通り参画していただけるかどうか、設計事業者の意向を確認していただきたいかった。そして、継続して担当してもらえなくなったのであれば、たとえ、「これまでの設計事業者と共に見直していくこと」について、「住民との十分な合意形成が図られていないのでは。」という意見が議会や町民から寄せられても、プロポーザル委員長から、設計事業者の信頼度や技術能力の高さについて、今後もパートナーとして共に進んでいけると判断できるということ、自信をもって示し、彼らの立場と名誉を擁護していただきたいかった。そう思います。</p> <p>今回の動画配信で、町民からの意見募集をされているわけですが、プロポーザル委員長が上記のように説明し、説得することで、こうした場を設けずともその責任を果たせたのではと思いました。</p>	<p>今回のパブリックコメントは、住民との合意形成を大切にし、しっかりとしたプロセスを踏んで進めていくとの考えに基づいて行ったものですが、貴重なご意見として承ります。</p>
	3	<p>設問が「悪文」と思いますが「事業の見直しを、これまでの設計者で行う」という意味なら賛成します。</p> <p>別荘所有者として、ほとんど庁舎に伺う機会はありませんので特にありません。</p>	<p>貴重なご意見として承ります。</p>
	4	<p>大々的なコンペをして決定した設計者に、町が約束を守ることは当然のことです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業の継続を行わないことは約束の反故にあたり、町の信用を著しく低下させます。 ・建築コストは設計時点の計算によります。その後の経済によってコストが変わることはごく当然のことです。 	<p>貴重なご意見として承ります。</p>
		<ul style="list-style-type: none"> ・軽井沢町は、世界でも稀な文化資産と環境を20世紀につくりました。しかし残念なことに街の21世紀ビジョンは見えません。 ・今回のコンペ決定事業を突然中止するということは、町の21世紀ビジョン以前に、「約束を平気で反故にする町」というレッテルを世界にPRすることになると思います。 	

カテゴリー	番号	上段（これまでの設計事業者と事業の見直しを行うことについての意見） 下段（庁舎改築周辺整備事業全般についての意見）	町の考え方
設計事業者を見直すこと自体について	5	<p>町の方針によって多くの識者や役場の人が動いて決められた重みのあるプロポーザル審査の結果選ばれた設計事業者を外して見直すことは、数年に渡る時間とお金の無駄遣いだと思います。</p> <p>山下設計と三浦設計事業者は反対意見にも耳を傾け、真摯に事業に取り組む姿勢が伝わりますので、軽井沢町にとっても設計事業者を変えることは大きなリスクになるのではないのでしょうか。</p> <p>何より軽井沢の自然、歴史、特性をふまえたまちニワ構想による新町舎はとても楽しみです。</p> <p>完成を期待します。</p> <p>地元住民のためはもちろんですが、G7外相サミットも行うような土地柄ですから外交的にも軽井沢の顔として恥ずかしくない庁舎作りを願っています。</p> <p>そういう意味でも山下設計・三浦設計事務所の構想はふさわしいと思いますし、のびのびと存分に力を発揮してやっていただきたいです。</p> <p>庁舎までの交通手段も充実させて欲しいです。</p>	貴重なご意見として承ります。
	6	<p>将来軽井沢に住まいをと思い、情報収集をしているものです。また、三浦慎先生の建築物のファンでもあり、今回のプロジェクトを楽しみにしておりました。</p> <p>一旦決まったものを白紙に戻されそうになり、軽井沢は混乱しているなど残念な思いで見えていました。</p> <p>再度復活したと情報を得て喜ばしい気持ちで書かせていただいています。</p> <p>最初の約束、町民の皆様の声を果たしていただきたいです。よろしくお願ひします。</p> <p>旧軽通りがもう少しなんとかならないのかなといつも思います。</p>	貴重なご意見として承ります。
	7	<p>これまでの設計者と ともに 事業の見直しを行う。と理解し賛成意見とします。</p> <p>プロポーザル方式によって選ばれ、住民・町とともに取り組んできた設計者ですので、当初の町の意向通り継続すべきと考えます。</p> <p>「設計者を代えるべき」といった一部の意見によって、委員会の画像を公開して住民意見を募るといったやり方には賛成できません。</p> <p>12/12の委員会を傍聴し画像も観ましたが、画像をもって設計者を代えるべきかどうかを問うのは無理です。</p> <p>1回目の委員会でプロポ方式が理解できないという発言がありましたが、2回目でも正しく理解できていた委員がどれほどいたのでしょうか。</p> <p>画像の先の住民にとってはなおさらです。團紀彦氏の発言も非常に解りづらいつ感じました。</p> <p>團氏・池田氏は、町とともに「設計者を代えるべき」という声に対し、プロポで選ばれた設計者が適任であると説明をして理解を得る立場ではないのでしょうか。</p> <p>選ばれた設計者自らに説明させる前に、選んだ側が説明すべきであると考えます。</p> <p>見直しによって、ゼブレディに戻っていますが何年後にフルゼブにもっていくのか明確な方向性を示すべきです。</p> <p>50年カーボンニュートラル環境先進都市を目指す町に相応しい対応に期待します。</p>	今回のパブリックコメントは、住民との合意形成を大切にし、しっかりとしたプロセスを踏んで進めていくとの考えに基づいて行ったものですが、貴重なご意見として承ります。
	8	<p>プロポーザル方式で決まった新庁舎の設計事業者についても見直す、という事に対して住民の合意形成が出来ていない事を理由に、新たに住民に意見等を募る事自体が安易であると言わざるを得ません。</p> <p>見直す必要はないからです。しかしながら敢えて書きますと、、、</p> <p>第2回の推進委員会のビデオによると、</p> <p>●プロポーザル案からの工事費アップの要因は</p> <p>物価上昇 1700㎡増床 ZEB化 であると説明しています。物価上昇以外の、増床とZEB化は施主である軽井沢町の仕様変更であり、この事が発端となって計画の凍結～見直しにつながっています。</p> <p>●計画の見直しの前提として、庁舎敷地が現在の民有地も含めた使い易い形となった事と、現在の中央公民館を改修して再利用する案が浮上して来たために、費用削減を目的にA,B,C案を新たに設計事業者が提出してきたものであると理解します。</p> <p>これらを踏まえて、第2回の推進委員会のビデオの1時間41分位からの委員の発言で、「3案が出て来ている事からこれは新しいプロポーザルを受けたのであるから、再度プロポーザルによる設計事業者を選定すべき」という趣旨の発言がありました。</p> <p>この発言が契機となって設計事業者の見直し論議となっていると思いますが、そもそもプロポーザル方式で選ばれた設計事業者というのは、設計能力を評価されたのであって、設計案が評価されたのではない、という事が共通理解になっていないのではないかと思います。</p> <p>プロポーザルで選ばれた設計事業者を、変更する事を前提で新たにプロポーザルをやり直す、という事は設計事業者の能力に疑問が生じた場合だと思えます。</p> <p>新庁舎の見直しや新たなA,B,C案は、施主サイドの要求で出て来たものであり、設計事業者の能力を疑う事案でない事は明白です。</p> <p>従ってプロポーザルをやり直す必要は全くないと思えます。</p> <p>設計事業を再選定すべし、と言う論議がいつ頃から出ているのかは知りませんが、出た時点で事務局なり議長が上記の様な判断を示せばそれで済むことで、委員の合意形成や住民の意見を聴く必要はないと思えます。</p> <p>このビデオで他の委員から設計事業者の能力を問う質問は出ていないばかりでなく、この設計事業者に対する建設的な要望ばかりが出ていたことからそれは明らかだと思えます。</p> <p>新庁舎計画に対する意見としては</p> <p>●太陽光パネルに関して、ゼロカーボン施策の一つとして浮上してきたものと思われませんが、そもそも太陽光パネルの寿命を考えているのでしょうか？</p> <p>我が家の太陽光パネルは設置後16年で発電しなくなりました。パネルの寿命です。交換するにも撤去するにも費用が甚大ですので、そのまま放置してあります。ハウスメーカーによりますと、他にも同様に寿命の切れた太陽光パネルを放置しているケースが多くあるとの事です。</p> <p>大規模に設置してしまうと保守・メンテナンス費用は無視できません。そこまで考慮したZEB計画であるべきです。</p> <p>●執務室の空調ですが夏季の冷房に関しては、夏の清涼な軽井沢の外気を積極的に執務室に取り込む風の流れを考慮しては如何でしょうか？</p> <p>ZEBの説明のチャートには、樹木の蒸散作用によって冷やされた外気を導入する計画になっていますが、これを執務室にまで取り込めばよいと思えます。</p> <p>夏の軽井沢は東風であり、建物東側には広場を配置するので、ここに蒸散が盛んで軽井沢を代表する紅葉を多く植栽すれば、秋の紅葉の新名所ともなり、効果は大きいと思えます。</p> <p>しかしながら外気導入だけでは執務室がまだ暑い様であるのなら、地熱冷房を導入する事により、エネルギー消費と排熱を押さえられると思えます。</p>	今回のパブリックコメントは、住民との合意形成を大切にし、しっかりとしたプロセスを踏んで進めていくとの考えに基づいて行ったものですが、新庁舎計画に対する意見と共に貴重なご意見として承ります。断熱等に関する議論については、ご意見も踏まえて設計事業者が決定した際に改めて具体的な検討をしてまいります。

カテゴリー	番号	上段（これまでの設計事業者と事業の見直しを行うことについての意見） 下段（庁舎改築周辺整備事業全般についての意見）	町の考え方
設計事業者を見直すこと自体について	9	<p>町がコンペティションで選んだ設計事業者と共に新庁舎の論点となっているコスト、環境性能を詳細設計で検討するべきです。今回の新庁舎に対し住民からの期待と目指すべき姿を誰よりも深く考え追及し実現しようとしてきたのはコンペを勝った設計者ですし、見直しのきっかけとなった110億円という金額も新庁舎の建設はその半分もありません。立地などの前提条件が大きく変わらないにも関わらず、民意の名の下に一度示された結果を白紙にし、再コンペすればいいという議論は、プロフェッショナルな職能を信頼せず、ここまでの検討をした建築家の存在を軽んじているようで残念です。契約した設計事業者を尊重し共に進めるべきだと考えます。</p> <p>2. 太陽光発電について、設計事業者からの説明資料3「ZEBについて」では、Nearly ZEBとしたい方針が示されました。前回の見直し方針案に対するパブコメでZEB支持、太陽光支持の意見が多数だったにも関わらず、太陽光なしのZEB Ready を含めてしまった軽井沢町の「軽井沢町庁舎改築周辺整備事業見直し方針（令和5年9月）」と比較すると、太陽光パネルを搭載すると明言されたことは前進しており素晴らしいと思います。しかしながら基本設計図書を確認すると建物の屋根には搭載せず、公用車駐車場の全てに屋根をかけパネルを設置するとあります。公用車駐車場は必要台数に絞って屋根を設置し、庁舎の屋根にもパネルを設置した方がコスト削減できます。公用車の稼働率が高ければすべての車両分屋根が必要なかもしれませんが、その場合でも建物の一部にもパネルを設置すればより発電量を増やすことができます。コストが問題で満足に載せられないならPPAによって設置することで初期費用の予算措置は不要で大幅な減額となります。近年公共施設での事例は増えており、環境省でも脱炭素社会の実現に向け手引きを公開し推奨しています。 https://www.env.go.jp/content/000118584.pdf</p> <p>説明資料3内「寒冷地・軽井沢の特性」には、「冬場は豪雪ではないが、積雪でソーラー効果は減る」とあります。気象庁のデータによれば今年の軽井沢の日照時間は2386.7時間と全国915地点の中でも上位であり、定量的に見れば太陽光パネルの搭載を減らす理由にはなりません。私宛には2023年2月時点で「南斜面の大きな屋根にソーラーパネルを乗せる設計では、国道18号を挟んだ建物に反射が大きくなるか？」心配する意見が寄せられましたが、現配置ではまず問題ありませんし、PPA導入検討と同時に意匠とのバランスで搭載量を増やしていただきたいです。</p> <p>3. 断熱性能について、激しい減額圧力のためか基本設計で開口部が減額のため木のサッシからアルミサッシ採用になっています。事務所用建物は住宅等と異なり24時間稼働はしていないため、コストと性能のバランスから最高性能のものを採用しないことは理解できますし、中間領域においてコストをコントロールされているのだと思いますが、執務するエリアは海外で禁止されているような低性能の窓にするべきではありません。1日10時間程度使うのだから、バックオフィスに関してはII地域の新築として最低限$U_w=1.9\text{W}/\text{m}^2\cdot\text{K}$以下程度のものを採用するべきです。説明資料3内「省エネルギー化の取り組み」にはガラス面の熱貫流率強化、サッシの気密性とありますが、この時代の新築でアルミサッシを全面採用ということになれば取り組み以前の問題です。近隣の御代田町では2018年に新庁舎を建設しましたが、2022年には樹脂製の内窓を設置する工事を発注しています。（令和4年度 町単独 御代田町役場北側サッシ改修工事）隣の自治体でそのような事例があるにも関わらず、新築時に最低限以下の窓を設置することになれば、今回町民の議論を尽くすまで一時凍結した意味がないと思います。</p> <p>また基本設計には屋根断熱に関し熱伝導率（$\lambda: \text{W}/(\text{m}\cdot\text{K})$）0.028～0.023）のグレード）で80mm以上の性能を確保とありますが、外気と接する執務室エリアのRC壁は屋根と同程度断熱されているのでしょうか。サッシ同様減額のためBEIで0.5以下になればあとはなんでもいいというのではなく、II地域の軽井沢で長年使う建物レベルの断熱をしてもらいたいです。</p> <p>基本設計資料編P20 4環境計画に「単に断熱性能の高い材料の組み合わせだけではコスト増となり、予算的な問題に直面してしまう。また、材料技術に頼った、建築的工夫のない建物になってしまう。」とあります。建築物のエネルギー消費性能計算プログラムで適切に反映されなかったとしても、アルミサッシの採用や外気に接する部分の断熱が弱い、熱橋が多く存在すると、計算によって求められる温度差と熱抵抗どおりの損失と同時に、MRT（平均放射温度）が不利となり空調運転時間、温度から消費電力が大幅に増えることは設備設計方なら理解されていると思います。これは議決を必要とする新庁舎の予算措置から、そうではないランニングコストに付け替えているだけです。「予算的な問題」を回避できればそれでいいのでしょうか。</p> <p>環境計画に外皮の高断熱化とあるのだから、少なくとも執務エリアの外気に接する部分は言葉通り高断熱の仕様にしてほしいです。高断熱という言葉に定義はなくどんな低断熱でも使えてしまいますが、高断熱プロジェクトをいくつか企画した私としては、II地域の壁なら部位別熱貫流率で0.20 $\text{W}/(\text{m}^2\cdot\text{K})$以下程度の性能はないと「高断熱」と自ら名乗るのが恥ずかしい感覚があります。3地域の自社のオフィスは24時間使う住宅ではないためその程度の壁断熱にしましたが、もっと断熱すればよかったと感じることはあってもその逆はありません。窓も大工造作でコストを削減したトリプルガラス、一番悪いところで$U_w=1.3\text{W}/\text{m}^2\cdot\text{K}$ですが冬期は冷輻射と、冷やされた周辺空気による温度差の対流は発生しています。断熱材という物理を「材料技術に頼った」と否定するのは、少ないエネルギーで健康快適に過ごすために人類が進化してきた歴史の否定です。ZEB導入検討のプログラムの問題で設備に依ってしまうもどかしさはあるかもしれませんが、執務室の外気と接する面に関してはこれまで世界中の建築関係者が積み重ねてきたベストプラクティスを超える「建築的工夫」がなければ「材料技術」に頼るのが当然かと思えます。以上文字制限があり論点のみの手短なパブリックコメントとなりましたが、計画を読み数多くのすばらしい点や凝らされた工夫に、設計事業者が投入した知見と膨大な時間に思いを馳せました。町民としてこれまでの仕事に感謝すると同時に、1のとおり契約した設計事業者と共に進めることを強く支持します。また町長のそのような決断が示されれば、設計事業者はプロフェッショナルとして、2、3についてゼロカーボン宣言の2050年を通過点とした、100年後の風景に通用する解を示してくれるでしょう。</p>	今回のパブリックコメントは、住民との合意形成を大切に、しっかりとしたプロセスを踏んで進めていくとの考えに基づいて行ったものですが、貴重なご意見として承ります。

カテゴリー	番号	上段（これまでの設計事業者と事業の見直しを行うことについての意見） 下段（庁舎改築周辺整備事業全般についての意見）	町の考え方
設計事業者を見直しすること自体について	10	<p>プロポーザルの前提条件である基本方針自体が、プロポーザルに影響を与えるレベルで変わったとは思えません。事業者が提案したのは、大きなコンセプトのようなものと思われるので。</p> <p>たとえば、基本方針として費用はかけないことを最優先に、町行政が作業しやすい四角いビルを建てよう、というくらいに変わっているなら、プロポーザルをやり直してビル建築業者を呼びましょう、ということになると思いますが、そういうレベルでの変更ではないですね。</p> <p>また、もし、事業者を見直すところまで戻るなら、その事業者を選んだ委員の方々の構成や指名方法をも見直すべきではないか、という議論しなくてはならないのではと思います。</p> <p>どこまで戻るのか？という話になりますし、私は、そこまで戻る必要性は感じません。</p> <p>以上のように、選考委員の方々の選び方に問題がなく、基本方針も、プロポーザルに影響を及ぼすようなものではない、という2点から、やり直す必要はないと考えます。</p> <p>町長選での争点も、主に、費用面だったと記憶しています。それは、設計者の方々と有識者の方々と、何を優先するか、今後決めていけばいいと思います。そこがクリアに見えてくるといいと思います。</p> <p>設計者の見直し、再プロポーザル依頼にリソースや時間をかけるのではなく、今後、基本設計を再検討していくために、町の側から関わる人のリソース（ZEH面、防災面などを設計者ととも議論していけるレベルの人、本当の有識者への業務依頼）などに注力していただきたいです。</p> <p>また、住民の納得感が低くて次の町長選でやり直し、ということにならないといいけど、と思います。</p> <p>そのためには、今よりも、住民にとって良い施設になる、という納得感が多くの人に得られるといいのではと思います。</p> <p>個人的には、ハード（建物）の費用だけでなく、ソフト（運用、運営）面の費用についても、必要なお金をかけられるよう、セットで検討して、計画としてリリースされるといいなと思います。たとえば、行政手続き中の託児サービスの費用、キッチンカーを呼ぶ費用、ワークショップや展示会が定期的にかれる費用、スモールモビリティなどによる駅からのアクセス向上のための費用、など。また、中軽井沢駅からの導線の盛り上げへの投資など。</p> <p>それらの費用も町の予算から出され、町内業者や住民に委託されれば、町内でも経済が循環しながらコミュニティが活性化するのではと思います。そういった実運用計画を含めることで、住民は納得していくのでは？と思います。</p>	<p>貴重なご意見として承ります。</p> <p>また、ご意見を踏まえてアドバイザーの起用も検討してまいります。</p>
事業のそもそもの見直しについて	11	<p>1) 先の町長選では本事業の見直しを公約にした候補者が投票者の約73%（7千人余り）を得たという事実がありながら、本事業の見直しをこれまでの設計者と行うという動きに反対いたします。また、動画配信の中で「令和5年9月の見直し方針に基づいて見直しを行う。それ以前には遡らない。」という事務局・委員長の発言がありましたが、新設された委員会委員からはお一人が否定されましたが、後の何人かの方はこれまでの設計者と共に見直すことを肯定する意見と継続起用を前提とした質問をされた委員がいらっしゃいました。この様子を見てこのままでは民意が反映されないまま本事業に町税が注がれると、かなりの危機感を持っております。</p> <p>2) 一体誰の為の、何の為の事業なのでしょう？ 「町民・住民・来町者が豊かな自然の中で快適な衣食住を得て健康で安心して暮らせる・過ごせる軽井沢であり続けて欲しい。」というのが多くの方の願いだと思います。世の中の動静から気象に至るまで地球規模で見られる様々な変化に対して、今の軽井沢には「何が足りて何が不足しているのか」を町と町民・住民が伴走しながら考え、備えていくことこそ今やるべきことでそこに町税が注がれるのが望ましいと考えます。</p> <p>3) どの町でもお金さえかければ設計者や建築家が競い合っただけの見栄えの良いシテイホールを建てられますが、往々にして華美過剰なものになりがちです。既に多くの民間、公営の施設が整った軽井沢で更に本事業にある公営施設が必要でしょうか？</p> <p>4) まずは本事業を白紙に戻し、スクラッチからの再スタートを求めます。民意を広く拾い上げる為に各地域の区会（区民）の意見を聞くプロセスを設けるのが良いと考えます。更に学校、病院とも経営側だけでなく利用者側の意見もこれからの町づくりに必要なことと考えます。</p> <p>5) 上述の意見を聞く場ではいくつかの視点が必要だと思いますがそれらは次の整備事業全般の項目で列挙いたします。</p> <p>1) 現在の町役場について、利用者の立場では何ら不満や不足感はありませんが勤務する職員等の方々が不自由・不便・不満があればそれを改善する為に改修や一部改築、改築を是非やって頂きたいと思っております。今後の業務スタイル、オンラインによる省力化が見込まれれば規模はそう膨らまないと考えます。ただ、役場に町民が長居することはあまり無いと思っておりますので利用者スペースを無用に多く取る必要は無いと考えます。</p> <p>2) 軽井沢病院の医療体制を更に充実させて信頼に足る病院にしていくことを期待いたします。佐久方面まで出向かずとも一通りの医療を安心して受けられるよう医師の配備を行う、或いは特定の医療分野に特化して「〇〇の病気、治療」なら軽井沢病院がおすすめ、と言われるほどの体制を敷くなど、中身の充実が重要です。</p> <p>3) 防災拠点として庁舎を重装備化するよりも地域事情に合わせ拠点を分散の方が現実的で、災害時に町が本来担うべきことに集中できると考えます。プリンスショッピングモールや風越公園あたりも拠点の一つとなるでしょう。更に各家庭や地域ごとにシェルターの設置・購入の補助も必要と考えます。</p> <p>4) 交通渋滞、環境保全、サイクリングロードの整備、高齢者自動車運転の危険度増への対応に必要な交通システムの検討と具体化に向けた取り組みを加速する必要がありますのではと感じています。これらは専門的な視点が必要ですのでこうした分野に町税を投じて頂きたいと思っております。</p> <p>5) 軽井沢の小中高校に国内外から良い教員を集め、多様な児童・生徒を受け入れてグローバル人材育成が促進される教育環境を作ることがこれからの人口動態を予測すると必要なことと考えます。</p> <p>6) 緑豊かな環境保全を各家庭、地域でも実践できるように町が樹木はじめ環境の相談窓口の設置を考える必要があると思っております。近頃は伐採現場ばかりが目につきますが、伐採後でも軽井沢に相応しい樹木を植栽していけば景観は守られます。こうした分野でも町の支援や相談相手になっていただければ自然を守る裾野の活動となります。</p> <p>まだまだ見落とししている重要な視点があるとは思いますが、民意を拾い上げる過程で出てくることを期待いたします。 以上</p>	<p>ご意見を踏まえて、誰のための、何のための事業なのかに立ち返りながら事業を進めてまいります。</p> <p>また、防災については、当町は地震や風水害、火山の噴火、大雪といった災害に対応する必要があり、想定される災害レベルに応じた防災機能を確保しつつも、想定を超える災害には「減災」の考えのもと、被害を最小限に抑える考え方をしております。</p> <p>具体的には、地震及び大雪に関しては、施設の構造による対策をとることが可能となりますが、その他については、それぞれ必要な対策が生じると考えています。</p> <p>まず、大規模噴火であれば、ハザードマップ上で火砕流と火災サージの流下予想範囲となりますので、前兆・予兆に基づく対策本部や役場機能の移転となります。</p> <p>小・中規模噴火による融雪型火山泥流については、同ハザードマップ上で範囲外となります。</p> <p>風水害についても、湯川沿いではありますが、地盤レベルが高い北側であれば現庁舎の位置よりもより影響を受けにくい旨確認ができております。</p>
	12	<p>浅間山における大規模噴火のハザードマップにおいて軽井沢町役場の位置は火砕流の被害を受ける範囲に含まれている。浅間山噴火時には町行政として住民の安全確保においては中核的な役割が求められることを考えると安全な場所に建築し、有事の際にも、町行政としてきちんと機能できなければならないと考えています。</p> <p>よって、建築地そのものを見直すことも必要であると思っております。</p> <p>当初の計画においても環境負荷の低減や、電源の引込2重化などの工夫はみられるが、1に記載した通り、浅間山の震災や災害にも備えられた立地計画であるべきだと思います。</p> <p>もしくは、現状立地を変えられないのであれば、建築計画及び周辺整備において、大規模噴火にも耐えられる建築計画とするべきである。</p>	<p>建設場所については、No.11の防災の観点及び令和3年策定の基本方針において住民の利便性や行政事務の効率化、事業費などを考慮した検討により計画地を決定しておりますので、現在場所そのものを見直す考えはございません。</p>

カテゴリー	番号	上段（これまでの設計事業者と事業の見直しを行うことについての意見） 下段（庁舎改築周辺整備事業全般についての意見）	町の考え方
事業のそもそもの見直しについて	13	<p>根本的な見直しが必要だと感じました。設計者を変える云々より、一からの提案の見直しを希望します。</p> <p>3.11や今年元旦の能登半島地震など、日本は地震大国です。能登半島地震での状況を見ていますと、これから創られる庁舎は防災に強い施設であることが一番重要だと感じています。暖房の効かない寒い体育館に避難している状況が、冬の軽井沢で起こったら地震以上に被害は広がると思います。軽井沢の人口は2万人弱。DX化が進み役場に訪れる人数は減ることがわかっています。この町役場は憩いの場所としての役割というよりは、いざという時には防災拠点として使える施設にしていきたい。浅間山の噴火以外にも災害はあります。もちろん、平時には町のランドマークとして使用することは前提で景観に美しい建物であるべきです。</p> <p>避難所になるためには</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 冬場であれば暖かいことは必須→停電時でも暖かさがキープできる断熱性能は必要(室温18度以上) 2. 電源の確保(通信・冷暖房)→太陽光発電システム(今時、太陽光パネルの設置がない施設はありません!!) <p>初期投資の削減とエネルギーコスト(ランニングコスト)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 町役場は常に使用する施設です。初期投資を抑えるためにむやみに性能の低い施設を維持するには、この先も数十年エネルギーコストがかかります。初期コスト+ランニングコスト(例えば30年から50年で試算)で考えるべきです。住宅レベルでも太陽光や断熱性能は10年もかからずにコスト回収できます。何より快適な環境になれば役所の方の生産性の向上、心地よい施設を町民は利用したくなります。小さく作るアイデアはとても良いと思います。動画で意見された方が、軽井沢の住民は冬にしかパブリックスペースを利用しないのでは?とありました。その通りだと思います。ただ一年の半分以上は寒い軽井沢で、外部利用のためのスペースはむやみに必要ありません。外部スペースは、いろいろな公園や山など自然環境にたくさんあります。土や石や川もそこここにありますから。本当に必要な機能で高性能なコンパクトな庁舎を望みます。後々の世代の負担にならないような庁舎をお願いします。 	<p>貴重なご意見として承ります。検討にあたっては、快適な環境となるよう心掛け、業務の生産性の向上により住民の皆様にご気持ちよく利用いただけるよう事業を進めてまいります。</p> <p>また、防災に関する考え方については、No.11をご覧ください。</p>
	14	<p>動画を見てとても異和感を感じた。何故契約が満了した事業者が、会議の中で長時間使って過去の実績や終わった計画の説明、今後の新たなA.B.C案を説明しているのか理解できない。事業者のプロポーザル、基本計画、基本設計には計画敷地の近隣住民として承服できるものではなかった。何故、閑静な住宅街側に庁舎と駐車場を配置するのか、さらには外周道路を新たに作るのか？</p> <p>一方、国道沿いには森を配置するのですか？普通は逆ではないですか？外周道路や鶴留線の自動車事故についてはこれまでのパブリックコメントで反対意見が複数出ているにも関わらず、契約もしていない事業者が引き続きA B C 案と称して、隣接住民や近隣住民の日常生活に影響がでる場所に計画を立てて貴重な会議であったかも既定事項のように説明しているのには不快感すら感じる。</p> <p>事業者の中には軽井沢町に関わりのあるスタッフがいるような資料があったが、近くに住んでいるのですか？</p> <p>福祉会館周辺は背後の森に繋がり、蛍が棲息している水路もあります。鶴留線は子どもの通学路で今でさえ車がすれ違う時はストレスな状況です。庁舎は地方公務員法上は、職員の皆さんが働く事務所で、税務署や清掃事務所などと同じで、住民の福祉や健康、文化などを増進させる公の施設、すなわち公共施設ではありません。少なくとも住民の日常生活を悪化させない場所に配置すべきです。以上、そのような事業者には税金を使ってまで今後の計画を委ねるのには反対します。過去の様々な経過(ここでは詳しく書きませんが)を一旦クリアにして、新しい町長のもとで近隣住民の声も聴いていただいてやり直すことを願います。もちろん事業者の成果物は町に帰属しているのしょうから、活用してできるものは利用していけば良いと思います。</p>	<p>貴重なご意見として承ります。現在のところ、一旦クリアにしてやり直すまでの考えはありませんが、今後近隣住民の皆様の声もしっかりと聴きながら事業を進めてまいります。</p>
	15	<p>庁舎の基本方針・設計自体を大きく変える必要がある。何故なら、前提が大きく変わらないで費用削減しようとするれば、イニシャルコスト削減による「質」の低下・将来のライニングコスト増加、付加価値の損失を招くと考える。</p> <p>・複合施設は撤去、もしくは大幅削減を希望します。→箱もの行政の典型と考えます。人口に対してリッチな施設であり、利用率も上がらないまま費用だけが嵩んだ施設になりかねない。コンパクトにするのであれば、不要でも成り立つ機能は徹底的に撤去すべきです。(公平性の観点からみんなが利用するような施設であれば納得しますが、年に1回も行かない庁舎に複合施設を付加する理由が見当たりません。)</p> <p>複合施設が現在の中央公民館のような状態になる事を大きく懸念しています。</p> <p>・木複合サッシからアルミサッシへの変更による減額は断固反対です。→省エネルギー化の種々取り組みを行う計画であるにもかかわらず、前時代・消えゆく代表ともいえる「アルミサッシ」を今更採用するという事に驚きを隠せません。省エネルギー化に矛盾しています。</p> <p>寒冷地であるが故にアルミサッシ部を熱橋として屋内の熱エネルギーの損失、猛烈な結露の発生が予見されます。結果、庁舎内の熱エネルギー効率低下(低下を補うために更に暖房エネルギーが必要となる)や結露によるカビ等の発生も懸念され、庁舎内で勤務する職員の健康にも悪影響を及ぼす可能性があります。</p> <p>周辺整備ももっと劇的に削減すべきだと思います。</p> <p>極一部の町民は頻りに利用するかもしれませんが、大部分の町民は年に1回も庁舎に足を運びません。足を運んでもらうように周辺環境整備する事が目的なのであれば、目的と手段が逆であり、何ら困っていない現状を優先すべきです。(現状は無くて困らない=不要と考える)</p> <p>大幅な減額を行うのであれば、庁舎改築周辺整備事業をバツサリと切り捨てるくらい行わないと、見掛け倒しの減額になるかと考えます。</p> <p>前回の町長選挙での争点・公約があいまいになっている状況が現在の混乱(期待値との乖離)を招いているかと思うので、住民投票を行い、民意を問う方が民主主義的に納得感のある解決になるかとも考えます。</p> <p>(現町長にどこまで期待、どこからは無理、等人それぞれ感覚も異なりますし)</p>	<p>公民館機能拡充施設に関する具体的な検討はこれからとなりますので、住民の皆様も交えた議論の場を設けながらしっかりと検討してまいります。</p>

カテゴリー	番号	上段（これまでの設計事業者と事業の見直しを行うことについての意見） 下段（庁舎改築周辺整備事業全般についての意見）	町の考え方
事業のそもそもの見直しについて	16	<p>庁舎改築周辺整備事業見直し方針に対する意見 令和5年2月 庁舎改築周辺整備事業検討委員会で土屋町長より事業凍結現在の凍結、半年を目途に見直しの方向性を打ち出すことが示されましたが、第2回庁舎改築周辺整備事業推進委員会の映像を拝見したところ、議論に費やす時間的な制限の存在が至る所で発覚していることを踏まえ、いったん凍結期間を拡張、次期町長選挙の時期まで時間をかけて議論するのが望ましいと意見します。また、町長選の結果から、前町長が進めた公舎立替計画に関して、町民との合意形成がなく大多数の町民に不満があったことが伺え、町民との意見交換が不十分だったことを踏まえると、今は庁舎立替時期として望ましくないことを合わせて意見します。それに伴い、今まで設計にかかわった方々への報酬は今後計画に影響が出ないように清算をするべきであると意見いたします。</p> <p>意見内容 1. 新たに町民との意見交換の場を設け、町長や町役場及び町議会議員、庁舎改築周辺整備事業検討委員会の考えではなく、町民の意思として庁舎改築周辺整備事業を進める必要がある。 2. 現在の事業計画凍結期間を2027年2月まで延期する。 3. 事業計画を1から見直し、必要に応じて白紙に戻すことも念頭に置く。 4. 町の方針が変わった以上、現段階までの費用は一旦清算するべきである。 5. ビジターセンターの設立</p> <p>1について、現町民の中にはコロナ以前の庁舎改築周辺整備事業に関わることなく町長選挙で知り経験している民も多いのではないのでしょうか？軽井沢町の町民の意識や生活はコロナ以前とコロナ後に非常に大きな変化があり、「コロナ以前の庁舎改築周辺整備事業」と、「コロナ後の庁舎改築周辺整備事業」と位置づけ、意見交換を改めて執り行う必要性があると意見します。 庁舎改築周辺整備事業の進め方に関しては、軽井沢町の自治組織である隣組で規定時間以上の議論及び意見交換の回数を重ね、それらの意見を基に町長、町役場、町議会議員、庁舎改築周辺整備事業検討委員会などが事業を進めるよう意見いたします。また、自治組織に所属しない住民も多いことから、居住エリアにとらわれない新しい自治組織の策定も進める必要があります。 2について、第2回庁舎改築周辺整備事業推進委員会の映像を拝見いたしましたところ、町民との合意形成及び意見を反映するには半年の凍結期間ではならず、町民が必要とする庁舎改築周辺整備は幾つかの点から急がず進める必要があると意見します。 ・「風土自治」の基盤づくりも兼ねた新たな自治組織の策定を進める必要がある。 ・現町長の凍結指示及びコロナ禍とエネルギー高騰による不安定な建築コストもあり、焦って庁舎改築周辺整備を進めるのは町民にとって不利益と意見します。映像説明にもある「まちニワ」となる拠点を現計画とは別に進めるのが道理と意見します。 ・省エネ技術、DX技術、AI技術、MaaS、太陽光パネルや蓄電池技術など、2050年のカーボンニュートラルを目指し令和の10年は技術が飛躍すると考えられることから、建設は10年程度未来に託するのが良く、発展途中な現在の技術に大金の税金を歳出するのは町民にとって多大な不利益になると意見します。 ・以上の事から凍結後検討期間は最短でも2031年2月までの8年後が望ましいと意見します。 3について 令和以降軽井沢で問題となりつつある建築ラッシュですが、庁舎改築周辺整備事業を凍結することは、町自らの姿勢を示すことに繋がります。環境省では「自然共生サイト」と命名して、国土の陸と海の3割に自然環境との調和（共生）を求めています。軽井沢町はG7サミットの外相会合や交通大臣会合の開催地であり世界の見本となりえるまちづくり、社会的責任の大きな町づくりを目指す必要が求められています。その時その時の感情で庁舎改築周辺整備事業を進めるのではなく、3歩進んで2歩下がりがながら、見直しに見直しを繰り返し、町民の意見によっては白紙に戻して世界の見本となりえる計画に変更する可能性も残せるよう意見します。 4について 以上の事から今は庁舎立替時期として望ましくないことを踏まえ、今まで設計にかかわった方々への報酬は今後計画に影響が出ないように清算をするべきであると意見します。但し、これは山下設計に今後依頼をしないと言う意味ではなく、町民との合意形成が順次的に先であり、可能な限り障害を取り除き議論を進める必要性から精算が必要と意見いたします。 5について 町づくりの見本として自然環境における環境リーダーとなるべき町づくりを目指して頂きたい。 人勢育成や環境の研究調査に取り組むための基盤づくりとして、「軽井沢ビジターセンター」を追加計画して頂きたい。 主な目的は、町内で育つ子供たち未来、環境リーダーや環境プロフェッショナルとしての職に就きたいと考えてほしいから。そして、大学や博物館等の研究機関・研究者と共に、軽井沢の環境基盤、国内トップの生物多様性、共生共創モデル地域となるように充実させたい。</p>	事業の推進にあたり、必要に応じてしっかりと時間をかけて合意形成を図っていきたくと考えております。
	17	<p>以下の最新状況を踏まえると、設計の微修正によるコスト削減は機能しないものと推察するため、設計者や設計内容を含めた事業の抜本見直しが必要であると考える。</p> <p>1) インフレの進展により、建築資材、人件費含めたコストは設計時から大幅に上昇していること。 2) 日本国内他地域の各種災害の状況を踏まえると、庁舎には災害時の避難拠点、支援拠点としての大きな役割が求められること。 3) 現庁舎の場所は、浅間山噴火時には町内からのアクセスが困難な地域にあると推定され、場所として適切とは考えられないこと。</p> <p>町長、町議会の動向や意思決定に対する住民の関心が高まっているこの状況下において、透明性ある検討を進めることが、軽井沢町の持続可能な発展に寄与するものと考えている。新たな特色ある地方自治体の開発モデルを示すことを期待する。</p>	貴重なご意見として承ります。建設場所に対する考え方については、No.12をご覧ください。
	18	<p>委員の発言で、首長の交替で庁舎建設をストップするのは恥である云々というのがありました。先の町長選挙の焦点が、庁舎建設のストップにあったことを無視する発言です。町民の意思は事業のストップと示されたのです。押金氏が落選したのは、減額を唱えたからです。現町長の当選は事業をストップし、考え直すという公約に多数の町民が同意したからに他なりません。前町長の下で行なわれたプロジェクトで選ばれた設計はコロナ以前の発想で計画されている。ビデオでなされた説明も、小手先の修正の域を出ない。団氏の指摘もそういう意味であろう。コロナ、物価上昇、資材、人手不足を知りながら、小手先の減額(修正)しか提示できなくて、プロかということだ。序舎、中央公民館共に本当に今、建替が必要なのか。そこに戻って検討しなければならない。建ててから50年経過とか、DX対応とか全部署が入り切らないが理由として挙げられているが、果たしてそれらは建替の理由になり得るのか？改造、増築という方法だってあるのに。古くて何が悪い？危険な訳で無し。大金の税金を間単に 使ってはならない。</p>	町長選挙における争点のひとつであった庁舎に係る町民の意思は、事業のストップでなく見直しであったと考えております。今後もしっかりと情報発信し、住民の皆様と合意形成を図りながら事業を進めてまいります。

カテゴリー	番号	上段（これまでの設計事業者と事業の見直しを行うことについての意見） 下段（庁舎改築周辺整備事業全般についての意見）	町の考え方
事業のそもそもの見直しについて	19	<p>●必要な内容を加味し、複数の業者に30-50億円で建設の見積もりと内容を出して貰い、それを公開して住民投票にしよう。根本的にもっとサスティナブルな方法で庁舎を作りたい。例えば、古い日本の武家屋敷のような建物、古民家を運んで来て取り入れて作る、町内に古民家がない場合、県内の地域から運んでくるなど。すべてを最新の建設にしないことで日本文化を継承し、環境に配慮した場であることなど。</p> <p>アメリカの有名なリゾートの町は森の中の古い教会を使っていたり、ヨーロッパでは歴史的な建物を使っている町が多いと聞きました。その土地に合った雰囲気、建物を庁舎として上手に使う、「快適で便利優先」ではない方法で考え直すことで、文化の継承、温かみのある場所、経費も下がると思います。庁舎建設の見積もり経費が高額すぎると多くの人が思っています。例として上田市は人口16万人で65億円の庁舎です。人口比がすべてではないにせよ、見積もり額が大きすぎると思います。多くの軽井沢町民は年に数回しか使わないですから、30-50億円で建設して欲しいです。（人口比）</p> <p>また、庁舎建設費用が高額な裏で、足りていない、町内の設備が沢山あると思います。（後述）税金を何に使うかという方向を、まず考えなおしてもらえたらと思います。</p> <p>また、大変書きにくいですが、庁舎という「入れ物」だけでなくそこにいる人の「やさしさ」もとても大事だと思います。軽井沢町の役場に行くときに感じるのは、昔の郵便局のようで、事務的で愛想がない人も、いるということです。公務員ですが、もっと愛を持った態度をできる人間関係を構築してくれる場であってほしいです。（参考に：沖縄県の役場は笑顔でアロハシャツを着ています）</p> <p>もっと魅力的で未来的で（地球環境に配慮した）世界最高の街を作るくらいの気持ちで、今後庁舎や足りていない設備と愛ある中身をもった人がつどう街になるよう祈っています。</p> <p>【庁舎関連ではないですが町への要望です】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●環境のこと具体的に→エネルギー資源の活用をもっと研究する ●野生動物対策：自然豊かで観光客が来る場所ですが、年間沢山の野生動物が車に轢かれて死んでいます。そこに対する対策がないことで軽井沢の魅力が減っていると思います。カナダ、ドイツなどが野生動物に対してしている方法を参考にしてみてもいいと思います。 ●観光都市で、別荘の人も多けれど、そこで働く人も多く住んでいること。つまりわりと貧富の差があることを考慮した税制。寒冷地生活環境の整備充実。 	<p>本事業においてご意見にある住民投票については考えておりませんが、予算に関しては貴重なご意見として承ります。</p> <p>また、職員の資質についてもご意見を真摯に受け止め、向上に向けて最大限の努力をしてみたいと思います。</p>
エネルギー・断熱等の考え方について	20	<p>町の新庁舎建設計画に関するパブリックコメントとして、以下の点につきまして、意見を申し上げます。</p> <p>まず、減額案の一環として提案されているアルミサッシの使用には反対です。2050年のゼロカーボンを目指す世界的な流れの中で、長野県もこの目標に向かって努力しています。新築の公共施設に世界では事実上製造禁止となっているアルミサッシを使用するのは、時代に逆行する行為と言えます。また、軽井沢の気候下ではアルミサッシは結露を引き起こし、それがカビやダニの発生源となり建物の寿命を縮める原因ともなり得ます。</p> <p>窓に関しては、普及品の樹脂サッシトリプルガラス、窓枠を使用せず直接トリプルガラスをはめ込むFIX窓など、低コストかつ高断熱化を実現する工法を検討すべきです。窓の数を減らすことも、コスト削減と高断熱化に寄与する有効な手段です。</p> <p>重要なのは、初期の建築費用を削減することに目を向けるだけではなく、断熱性能の低下による長期的な光熱費の増加を避けることです。アルミサッシの使用は、初期費用の削減には貢献するかもしれませんが、断熱性能の低下によって光熱費が長期的に増大するリスクがあります。これは、PHPPなどのシミュレーションソフトを用いてランニングコストを精度良く算出することで証明できます。</p> <p>さらに、軽井沢は世界的な別荘地であり、町の象徴となる建物にアルミサッシを使用することは、「町が地球環境を考慮していない」というメッセージを発信してしまうことになりかねません。したがって、減額対象から窓は外すべきです。</p> <p>その一方で、ZEB基準への性能向上は支持いたします。特に、軽井沢地域では太陽光発電の発電量が極めて大きいため、再生可能エネルギーとして太陽光発電の導入が最も有効です。高断熱化、大容量の太陽光パネル、冷暖房の電化は省エネに極めて有効であり、初期コストを抑えつつ長期的な光熱費の削減にも寄与します。太陽光パネルのには一体型タイプではなく一般的なガルバリウム鋼板屋根のキャッチ工法を推奨します。リユースパネルも初期コスト削減として採用されるケースが増えていきます。</p> <p>なお、再生可能エネルギーとしての地中熱利用は、実際の電気代削減効果が工事コストに見合わないことが見受けられます。採用は慎重になった方が良いでしょう。</p> <p>以上の理由から、高断熱窓の選択および断熱性能の向上、太陽光発電の積極的な導入を強く希望いたします。新庁舎が軽井沢町の環境への責任と先進性を象徴するものとなり、長期的な視点でのコスト削減と環境保全の両立を実現することができると考えます。</p> <p>現在建てた建物は2050年ゼロカーボンの時代まで間違いなく使われ続ける建物です。それを見据えて、次世代の子どもたちも含め、関わる人誰もが誇りに思えるような庁舎を作っていただくよう、強く希望いたします。よろしく願いいたします。</p>	<p>断熱等に関する議論については、ご意見も踏まえて設計事業者が決定した際に改めて具体的な検討をしてみたいと思います。</p>
	21	<p>省エネを考慮し、軽井沢の気候をよく理解したうえでの、ZEBを目指す設計の考えに共感し、期待いたします。</p> <p>基本設計の時のアニメーションは、実生活が伴っていないのではないかと違和感を覚えました。</p> <p>人のよりどころとなっている場所は人それぞれです。私は、20数年前に4人の子育て中に軽井沢に引っ越してきて、どっぷり軽井沢に浸かって子育て支援活動をしてきました。活動の拠点となったのは、老人福祉センター、児童館、地域の公民館、中央公民館、子育て支援センター、図書館、木もれ陽の里、そして町との交渉時は役場であったりしました。よりどころとなったのは、私たち団体を最大限に応援してくださったボランティアセンターがあった老人福祉センターや木もれ陽の里でした。</p> <p>私は、頻りに町の施設を利用させていただきましたが、共働き家庭が多い現在においては、町の施設の利用は減少します。</p> <p>木もれ陽の里ができて、利用していたころ、ガランとした広すぎる廊下が印象的でした。テーブルとイスも設置されていましたし、喫茶スペースもありますが、利用している人はあまりいませんでした。そして廊下のモップ掛けをしていた高齢女性。こんなに広い廊下は必要がないのではないかと感じたものです。</p> <p>これだけの人口密度の町では、多くの方がよりどころとしての利用は考えにくいことです。</p> <p>多くの時間を軽井沢で過ごしている人たちや、そこで仕事をする町の職員の方々と、会話、対話をしながら設計を進めていただくことを希望いたします。</p>	<p>貴重なご意見として承ります。事業の推進にあたっては、関係する皆様との対話を大切に検討を進めてまいります。</p>

カテゴリー	番号	上段（これまでの設計事業者と事業の見直しを行うことについての意見） 下段（庁舎改築周辺整備事業全般についての意見）	町の考え方
エネルギー・断熱等の考え方について	22	<p>コンペで選んだ設計事業者を再コンペするのか今の事業者で行くのが問われているとのことですので、断熱（樹脂・木製サッシ）して、太陽光をしっかり載せる事業者を選定されることを望みます。</p> <ul style="list-style-type: none"> 開口部が大きいデザインの中、設計者が予算減額のため木のサッシからアルミサッシ採用にするとのこと、中間領域はともかく執務するエリアは海外で禁止されているような低性能の窓でなく、1.9W/m²・K以下程度のものを採用する必要があるのではないのでしょうか。高断熱の庁舎という設計者のプレゼンと矛盾しているように感じます。 コスト削減のためZEBはできずNearly ZEBを目指す計画になっているとのこと、コストが課題で難しいならPPAを検討すべきではないでしょうか。 コンペ時高断熱という提案でしたが基本設計では屋根断熱80mm。II地域の軽井沢でこれでは断熱不足です。少なくとも執務エリアは言葉通り高断熱の仕様にしてほしいです。 	断熱等に関する議論については、ご意見も踏まえて設計事業者が決定した際に改めて具体的な検討をしてみたいです。
	23	<ul style="list-style-type: none"> 見直しを行うこと自体は賛成 減額項目として、木複合サッシ→アルミサッシへの変更には反対 断熱、太陽光等の再生エネルギーに関する初期投資は減額対象から外してほしい 	断熱等に関する議論については、ご意見も踏まえて設計事業者が決定した際に改めて具体的な検討をしてみたいです。
	24	<p>ZEBを掲げているのであれば固定費用の光熱費を可能な限り抑える設計にすべきだと考える。理由は燃料費の変動により町の予算に占める光熱費が大きく変動するためだ。工事費削減のために窓枠をアルミサッシに変えるのはあまりにも愚かな選択である。確かに工事費用が安くなるのは歓迎されるが、代わりに毎年の維持費が大幅に増えるというのはあまりにも町民を馬鹿にしているとしか思えない。実際に町内（東信地域）の高気密高断熱住宅では、光熱費が大きく減少することからもアルミサッシの採用はあり得ない選択だ。2030年度の温室効果ガス削減を県が掲げているにもかかわらず、県内の自治体が自ら温室効果ガスの増加をもたらす建築をすることは理解ができない。昨今激甚化する災害によるリスクを考慮すると、避難所として不快な環境を自ら選択することは避けていただきたい。また、停電リスクを考え役場機能を広く維持するためにも、かつ、環境負荷を考えても太陽光発電機能も不可欠だと考える。一次的なコストと今後恒常的に発生するコストを考慮したことを発信すれば、建築コスト増加に対する町民の理解は得られるだろう。</p>	断熱等に関する議論については、ご意見も踏まえて設計事業者が決定した際に改めて具体的な検討をしてみたいです。
	25	<p>近年の物価高によるインシヤルコストの増加による設計変更ということですが、長い期間施設を利用していくうえで、インシヤルコストよりランニングコストが多くなるというのは明確になっています。新築時にこそしっかりとした外皮性能にすることでランニングコストを減らすことができます。未来の子どもたちに負担を先送りするような判断をしないことを願っています。</p>	断熱等に関する議論については、ご意見も踏まえて設計事業者が決定した際に改めて具体的な検討をしてみたいです。
	26	<p>私は設計者でもあります。軽井沢において、コストバランスの最優先事項として、断熱性能は外せません。軽井沢がこれからもバリューを継続するためにも、現代における環境意識を示せる程度の性能は持たせるべきです。必要があれば相談にも乗れます。一部でアルミサッシという話も聞きましたが、何かの間違いかとは思いますが、本当に採用したら、結露でびしょびしょどころか、結露が凍りますよ、。</p>	断熱等に関する議論については、ご意見も踏まえて設計事業者が決定した際に改めて具体的な検討をしてみたいです。
	27	<p>見直すこと自体は賛成。 見直すポイントがズレていないか？ コスト削減でアルミサッシという、時代錯誤も甚だしい提案はいったい誰が言い出したのか？ 自然、環境、革新、ゼロカーボン、省エネを謳っておきながら、アルミサッシが選択肢に出てきたこと自体理解に苦しみます。 まずはコスト削減ができる要素を全て洗い出してからがスタートでしょう。 本当に今の関係者達にまかせて大丈夫なのか、今後の展開に不安を覚える。</p>	断熱等に関する議論については、ご意見も踏まえて設計事業者が決定した際に改めて具体的な検討をしてみたいです。
	28	<p>見直しを色々行うのは構わないが、手前のコスト削減が目的化し、断熱や気密さえも犠牲にするのはいかがなものかと感じる。 この時代にアルミサッシを選択してしまうことは極めて残念でならない。ZEB readyとかそういうことを謳う資格すらないのではないか。 軽井沢の気候で、アルミサッシを採用すれば、真冬であれば結露で建物は傷む、足元は冷える、室内は乾燥する、メンテナンス代・光熱費がかさむといいことは一つもない。 私はUA値0.34、C値0.4で自宅を建てたが、外気温0℃程度でもエアコン1、2台で全空間が快適な23℃を維持可能。光熱費も前の時代の家よりも3分の1程度で済む状況で、快適そのもの。 ぜひ執務する方、利用する方々が後悔しない様、高断熱・高気密だけはあきらめない様、お願いします。</p>	断熱等に関する議論については、ご意見も踏まえて設計事業者が決定した際に改めて具体的な検討をしてみたいです。
予算・コスト削減について	29	<p>今ある見直し方針で実施していただければ良いと思っている。 なお、コストを考慮した削減判断については、ZEBへの予算は保持したまま、まちの縁側など、庁舎として必要不可欠ではない部分を削減してほしい。町の人が集まる場所は、町内の様々な場所にすでにできているので、公費を使つての場所の新設は不要。もし人が集まることを促進したいのであれば、建物ではなく、そのような活動を推進するようなプロジェクトへの税金投入を増やしてほしい。</p> <p>当事業について、町役場からの情報公開が分かりづらく、町民に議論を促すような明確な論点が整理されていないと感じました。 現状は、全てを把握できない町民からの単発の意見に対して、そのポイントを突っ込まれないように、という回答の仕方をしているように見えています。あるべき姿は、町民の意見の真意を聞いていながら、全体の論点や情報を改めて整理して提示していく姿勢だと感じます。 つきましては、この庁舎事業についてアドバイザーを設けるのであれば、アーキテクチャ観点のアドバイザーではなく、論点を整理し議論を進めていくファシリテーターやロジカルシンキングのできる人材をアドバイザーに依頼してはいかがでしょうか？この事業を通じて、町の職員の皆さんがロジカルに論点を整理できるようになるといいなと思っています。</p>	ご意見を参考に改めてコストの削減判断をしてみたいです。また、情報公開につきましては、住民の皆様に分かりやすく論点を整理して発信できるよう努めてまいります。

カテゴリー	番号	上段（これまでの設計事業者と事業の見直しを行うことについての意見） 下段（庁舎改築周辺整備事業全般についての意見）	町の考え方
予算・コスト削減について	30	<ul style="list-style-type: none"> ・やり直しにより、設計費が増大することを懸念する ・やり直しにより設計事務所側の不信感が募るであろうし、応募する事務所は多くないと思う。設計事務所側から見ても、労力の無駄 ・町役場から見ても、労力の無駄。公務員の皆様は、もっと他のことに工数を割いて欲しい ・設計者選定作業に不手際があったとか、不正な手続きによって設計事務所が選ばれたならばやり直しも理解できるが、今回の件は不正があったわけではない。 <ul style="list-style-type: none"> ・太陽光発電設備導入をまた主張する人もいるが、一度却下された案である。日照時間が少なく、噴火で飛んできた石による破壊も見込まれるので、軽井沢には太陽光パネルは適さない。却下を維持すべき ・ZEB Ready で十分。他の自治体でも、完全なZEBは極めて稀では？ ・その分、徹底したコスト削減を目指すべき。それが民意だったはず。初心忘るべからず。 ・事業費が高いのは、設計的な問題に加えて、施工にも問題あるのでは？工期工法も含めた見直しを求める。 	<p>貴重なご意見として承ります。断熱等に関する議論については、ご意見も踏まえて設計事業者が決定した際に改めて具体的な検討をしてみたいです。</p>
	31	<p>選挙の時の公約が「凍結して見直す」ということでした。しかし、これを「ゼロベースから見直す」と、とらえてしまった人も多かったようですが、それは勘違いです。</p> <p>「減額せよ」というのが選挙で示された民意。見直しの一番のポイントです。</p> <p>建設費高騰は凄まじい勢いで進んでいますから、時間をかければ経費はどんどん高騰し、経費節減は難しくなります。高騰しない時代であればじっくり考えるのもいいですが、今は無理でしょう。</p> <p>となれば、一から業者を選ぶことを始めていたら時間がかかり、この先どこまで高騰するかわかりませんから、経費を抑えることのみを考えるのがよいということになります。</p> <p>町民との合意形成を得られていないという町長及び担当者の心配もわかりますが、今まで住民（町民+別荘民）の意見はたくさん聞いてきました。住民の意見はもう十分聞いたと思います。ワークショップでもパブリックコメントでも一般住民はバラバラに好き勝手なことを言います。公募の6人を入れた推進委員会で「経費節減」にポイントを絞って検討し、早く結論を出すことを希望します。「建築費高騰」との時間の勝負ではないでしょうか。</p> <p>山下&三浦設計も一生懸命、経費の削減を考えてくれたと思います。マスターアーキテクトの團紀彦さんが仰るように、全く別の場所に建てるわけでないし、やりやすい地形になったことでもありますから、一から時間とお金をかけて行う必要はありません。</p> <p>ZEB Readyについては地球温暖化を考えて同時に進めた方がよいという意見も多いかと思いますが、コストが高額になった原因でもありました。「今回の見直しは減額」ということであればZEB Readyで良いと思います。地球温暖化対策はソーラーパネルだけが方法ではありません。森の中の庁舎として緑化を進めることもCO2削減につながります。</p> <p>住民に理解してもらう一番の方法</p> <p>建設の期間延長による経費の高騰を年に何%か予測した上で、3つくらいの例をあげるのはいかがでしょうか。例えば</p> <p>① プロポーザルから始めた場合の時間と費用 →〇年〇カ月 約〇〇〇億円（昨年案の110%）</p> <p>② 既に選ばれた業者が一から考える場合の時間と費用 →〇年〇カ月 約〇〇億円（昨年案の90%）</p> <p>③ 同様の業者による設計で経費節減部分考えた場合時間と費用 →〇年〇カ月 約〇〇億円（昨年案の70%）</p> <p>など、予測で比較して時間と費用を提示したら、多くの人が③を選ぶと思います。</p> <p>住民の意見に振り回されることなく、推進委員会で軽井沢町のマスターアーキテクトの團紀彦さんを中心に進めてください。</p>	<p>貴重なご意見として承ります。また、住民の皆様により理解していただけるよう事業を推進してまいります。</p>
	32	<p>町役場の建て直しや公民館の建て直しに関しては賛成ですが、予算のかけ方が住民の利用者に対してバランスが取れていない計画かと思っています。</p> <p>また避難所としては浅間山により近い中軽井沢に逃げようとはどなたも思わないのではないのでしょうか。徒歩圏内に避難所は設置すべきだという基本を蔑ろにされて計画されていることが一番の問題です。浅間山から離れた場所で住民が徒歩で避難できる避難所を新たに設置しないのは火山噴火に備え退避ブースの新設など、町役場建設資金の見直しが必要かつ重要ではないのでしょうか。</p> <p>一棟1億円くらいの大型ログハウス3棟を建設して町役場として機能させればいいのでは？観光客が常時滞在しているので駅周辺の避難所整備やプリンスホテルと連携して避難所対応に予算を割り当てることも考えてほしい。</p> <p>ハコモノでお金を使うやり方は昭和の悪しき習慣です。運営費、維持費も考えれば違う選択をしていただきたいと思います。リスクヘッジを再検討していただきたい。</p> <p>楽観せずに火山噴火、洪水、山崩れに備える計画をたててください。</p> <p>軽井沢町は浅間山の火山噴火を無視できないので、一極化に予算をかけすぎるのは賛成できない。</p> <p>何もなければ軽井沢病院や町役場や公民館が一ヶ所があれば景観も見栄えも良いが、非常時には全てがリスクとなる。多くの人が集まるタイミングに避難する場合は、逃げ道が重なり、車だけでも大渋滞を引き起こす。</p> <p>設計図を引くものは、それまで考えているのでしょうか。</p> <p>有事に町役場に集まれ！というには場所は変えた方がいい。浅間山から離れましょう。</p>	<p>予算のかけ方については、決定しているものではありませんので、今後しっかりと検討してまいります。また、建設場所に対する考え方については、No.12をご覧ください。</p>
33	<p>建設費を下げるために設計し直しをすることには賛成している。</p> <p>一方で建物の断熱性などこれからの持続的社會において必須で求められる要件を満たさない旧時代の建設を行おうとしていることには強く反対を表明したい。</p> <p>建設費が下がったと言っても他市町村と比べて時に役場建物としては遥かに高額であり、それだけの金額を持ってして凡庸な建物を作ることには納得できない。</p> <p>これからの時代の役場庁舎としてあるべき姿を提示するような気概のある建設を行ってほしい。</p> <p>上記と同じ。これからの時代の役場庁舎としてあるべき姿を提示するような気概のある事業を行ってほしい。</p>	<p>貴重なご意見として承ります。</p>	

カテゴリー	番号	上段（これまでの設計事業者と事業の見直しを行うことについての意見） 下段（庁舎改築周辺整備事業全般についての意見）	町の考え方
予算・コスト削減について	34	<p>町民の希望する建物、予算感と建築士が考える建物及びコスト感覚が完全に乖離している印象を受けました。ホテルやおしゃれなショッピングモールを建てていてのではありません。完全に勘違いしたガラス張りのホテルのような建物に斬新な屋根。一体何を考えているのでしょうか。説明会の動画内の建築士の横柄な態度を見ても信頼して任せられるとは思えません。建築士に指図するなんて侮辱だという発言にはがっかり。皆でいいものをつくろうという誠実な気持ちが一ミリも感じられず、こちらの言うことを聞いて軽井沢町言われた通り金だけ出せばいいんだと言わんばかりのかなりの横柄さを感じました。ガラス張りの映える斬新な建物は要りません。壁量、耐震強度、地震発生時揺れに耐えられるバランスの計算、熱貫流率、ランニングコストが抑えられる寒冷地に適した断熱材を採用した普通の四角の建物が希望です。ホテルやリゾートモールと行政サービスを行う建物を完全に勘違いしています。絶対に変えるべきです。</p> <p>御代田町のような普通の建物がいい。斬新な屋根、スケルトンのガラス張りの建物は求めていません。ガラス張りの建物は地震や浅間山の噴火の際の風圧に耐えうるものですか。防災拠点としての目的を達するのでしょうか。いざという時に町民が寒さや暑さに苦しむことなくそこで快適に過ごせますか。通年を通してランニングコストは今の建物と比べてどれくらい削減できるのでしょうか。浮かれたデザインの建物よりいざという時に安心を与えてくれる建物を希望します。軽井沢らしいという言葉を使うと全てが許されるようで、なんの役にも立たないデザインにこれだけ高額なお金を使う価値があるのか全く理解できません。普通の建物にすればコストは下がります。まずは今の半分の予算を目指して削減してください。今よりランニングコストがかかる建物は経済的ではありませんし求めていません。ガラス張りの建物は自然の影響を受けやすく、夏は暑い、冬は寒い建物になるのは素人でもわかる常識です。それを役場でやる必要性を感じません。中で働く役場の職員の方々が経済的なコストで快適に過ごせる空調管理が出来る建物が好ましいと思います。寒冷地で災害が発生した時に町民や別荘民の人たちが低体温症で亡くなるような事を避けるための建物、防災拠点としての建物をもう一度1から考えるべきです。</p>	<p>ご意見を真摯に受け止め、今後も住民の皆様と共通の認識をもって共に検討していけるよう最大限の努力をいたします。</p>
	35	<p>これまでに設計費用を支払っており、別の設計事業者を選びなおすとさらに費用がかかる。山下設計・三浦設計室については、町や議会、住民が意見を寄せ、修正・管理をする方式でよいのではないか。修正・管理する点は次のことが考えられる。</p> <p>①無駄の是正 山下設計・三浦設計室がつくった「基本設計」をみると、利用がほとんどないと想像できる「まちの緑側」構想などがある。浅間石のモニュメント、交流スペース、展示ギャラリーなどを配置するというが、だれからの要望なのか。利用するのか。ガラス張りの外窓と内窓の建設コスト、さらに冷暖房の空調などの維持管理費用は大変だ。やめたほうが良い。それなら中央公民館に展示ギャラリー機能や喫茶付きの交流スペース、打ち合わせスペースを設けたほうが利用頻度はあがり、コストははるかに安くなる。</p> <p>②利用する人・団体の要望をきくこと 実際に多くの人々が利用をすることがあるのは中央公民館とその周辺の空きスペースだと考えられる。消防団の出初式、緑化苗の配布など今も利用している。今後利用の要望がありそうなのは、軽井沢野菜や加工品の夏から秋のマルシェ（朝市）用のイベント広場、中学生や高校生の学習スペース（佐久市の中込会館内にある）、屋内外の演奏などが考えられる。こうしたことを利用する人たち・団体に要望と利用頻度を聞き、実例を調査することが必要ではないか。</p> <p>次のことが考えられると思います。</p> <p>①中央公民館は利用頻度ははるかに多い。講堂、絵画展示が常時できる多目的室、調理室、広い喫茶室などのイメージをつくり、住民から意見を求めるべきだ。 ②庁舎には、現在分散している保健福祉課、教育委員会の機能をまとめてワンフロアで相談できるようにする。相談のたらいまわしはしない。DXは高齢者には難しい。普及には年月がかかる。コンビニは国道沿いがほとんどであり、住民票や戸籍勝本などは町役場のほうが便利だ。 ③保健福祉課が抜けた「木もれ陽の里」は、福祉作業所を拡充して「クッキーハウス」などを設置する。 ④地球温暖化対策に積極的な姿勢をとる庁舎にすべきだ。太陽光発電だけでなく、地下熱の利用、小型風力発電量の設置、二重窓や省エネ構造にする工夫が必要だ。 ⑤駐車場のスペースは十分にとる。駐車場は災害時の避難場所にもなる。 ⑥国道への通路は、軽井沢病院経緯、南側に信号を設置してアクセスをよくする。 ⑦地場産の木材を利用した建築、緑の植栽に努めるべきだ。</p>	<p>ご意見を踏まえて、特に公民館機能拡充施設については、真に必要なものを見極められるよう利用する方や団体の要望をよく聴きながら検討してまいります。</p>
実用性・機能性について	36	<p>住民が必ず使用するものには時代とともに使いやすく、快適に最低限するべきだと思います。最近よく庁舎を利用することが多くなったので色々と思うことはあります。客観的に見て働いてる方が働きづらい環境であること。また、初めて利用する人にとっては利用しづらいデザインであること。以前、予算の問題などで白紙になってしまったアイデアにあった住民などが集まれるようなパブリックスペースも軽井沢には少ないと思っているので、それも合わせて検討していただきたいです。</p>	<p>検討にあたっては、利用する人が利用しやすいデザイン、働く人が働きやすいデザインを目指してまいります。</p>
	37	<p>予算には限度がある中で今後数十年は使うみんなの建物になるわけですので、コンパクトでありながらも軽井沢らしい美しさ、実用性を兼ね備えたものにするべきだと思います。</p> <p>コストカットは必要ですが、軽井沢の厳しい自然環境を考えると断熱や防災対策などは妥協するべきではないと考えます。特に窓をアルミサッシにするのは今後の光熱費の増加や役場職員の健康、災害時には避難所になることを考えるとおかしいと思います。また先日の能登半島の地震のように巨大災害時には通信網が途絶する可能性もあり、長野県の端っこで群馬県側は山に囲まれている軽井沢は災害時にはライフラインの復旧に時間を要することも想定されます。災害発生時や軽井沢の厳しい自然環境を踏まえた建物になることを別荘民としても期待しています。</p>	<p>貴重なご意見として承ります。また、断熱や防災の観点などコストカットありきにならないようしっかりと検討してまいります。</p>

カテゴリー	番号	上段（これまでの設計事業者と事業の見直しを行うことについての意見） 下段（庁舎改築周辺整備事業全般についての意見）	町の考え方
実用性・機能性について	38	<p>適正に選定された設計者であるのならば、本改築計画が進行している以上はこの設計者と見直しを行うことは必然であると考えます。</p> <p>2023年12月12日開催の第2回庁舎改築周辺整備事業推進委員会の映像を拝見しましたが、設計者の思いのみが大部分を占めてしまい、客観的な今後につながる施策が見えなかったのは残念でした。</p> <p>私はいたずらに減額に固執する単純な論議には賛成しておりません。機能性と将来発展性のあるものであれば検討を深める必要があります。</p> <p>そこで映像中にもありましたが、現在施設を利用しているヘビーユーザー（文化活動等に利用している住民・申請や打合せに訪問する業者等）の施設への思いを拾っていただければ有難いと思います。</p> <p>また2024年は未曾有の災害で年が始まりました。災害は想定以上のものばかりです。災害時の軽井沢町及び周辺市町村との相互協力補助に適した機能を配した施設であることも検討すべきだと思います。</p>	<p>貴重なご意見として承ります。</p> <p>また、コスト面についても減額だけに固執することなく機能性や将来発展性を踏まえた検討をしてみたいです。</p>
プロセスについて	39	<p>第2回の見直し委員会を傍聴して賛成から反対に意見を変更しました。理由ですが、</p> <ol style="list-style-type: none"> 現在の設計者と見直しを行うかを再検討することにしたのは、議会や町民から「諸条件が変わったので同じ事業者でよいか」という意見が出たためだと思います。私も同意見です。 その議会・町民の意見に対し、町の意見はプロポーザル方式で総合力を評価して設計者を選んだので同じ業者でよいという見解とします。それもそうかなとも思います。 しかし、住民との合意形成を大切にするために、町長・副町長・総合政策課長が（プロポーザル委員長の）團紀彦氏に相談したところ、團さんは（様々な疑問を払拭するために）見直し委員会を山下・三浦設計に説明機会を設けることを提案したため、第2回の見直し委員会で設計事業者の説明機会があったと理解しています。 今般の見直しは、高額な建設コストに対する反対、機能重視の新庁舎、住民への情報公開と意見の反映などが趣旨と思いますが、第2回の見直し委員会での山下・三浦設計の説明は、依然として「森の回廊」から連想するプロポーザルからのマイナー変更という内容だったという印象を受けました。 その説明を受けて、團さんも物足りないという発言をされていましたし、委員会の議論の時間がわずか30分というのは、「住民との合意形成を大切にするため」というよりは形式的に委員会を開催して合意したという形を作りたという印象を受けました。最後に池田委員長が、第3回の委員会で「満場一致、もしくは多数決で「同じ業者でよいという」結論に持っていきたい」と発言したこともガッカリしました。 結局のところ町の考え・形式的な進め方に対して山下・三浦設計もプロの設計者として意地で反発しているのかもしれませんが、「予算などは役場と議会が決めることだ」という発言がありましたのでその気持ちも理解できます。やはり「この新庁舎は山下・三浦設計でない」と良い庁舎はできないのだ、その理由は云々．．」のようなことが役場から議会や町民に具体的に説明できたほうがよいと思いました。 そういう意味では、堀内委員から提案あった外部アドバイザーを採用してその人から専門家としてのセカンドオピニオンをとるというプロセスが（時間は少し余計にかかりますが）議会や町民から出た意見に対して説得力を持つのではないかと思います。 いずれにしても機能的な、天災にも強い新庁舎が住民のために良いと思っています。実際、山下・三浦設計がプロポーザルした一階のあの大きなオープンスペースや大きな窓は（特に冬季の）空調コストもかかるでしょうし、職員の方が仕事をするときを使い勝手が悪くないでしょうか、少し心配です。 ZEBに関してですが、投資とエネルギー節約の具体的な数値が見たいです。私も今般、自分の家に太陽光パネルと蓄電池を（町の補助金を活用して）設置しますがコスト的にはゼロは無理で赤字です。ここはコストが10億というドンブリ勘定の言い方はやめて、コストは赤字だが環境の観点から設置するのだというような哲学をアピールしたほうが賛成者が多くなるのではないのでしょうか。それと自然エネルギー活用はインフレ対策にもなると思います。 委員会の構成ですが、24名の委員のうち町の若手職員と観光協会などの当てる職が18名というのは（令和4年までの検討委員会と同じで）実質的な議論をする体制としては無理があると思います。課題ごとにサブ委員会として、職員や当てる職の人はサブ委員会でも匿名で議論ができるようにした上でそこで出た意見をたたき台にして住民代表の6名がオープンな見直し委員会として議論した方が有効かと思いますが。 11. という事で、第2回の見直し委員会を傍聴して、もう少し委員会運営のプロセス改善と、新庁舎機能の議論を深める必要があると感じましたので、「これまでの設計者と事業を継続する」ことには反対として意見をこのパブコメを提出します。 12. 最期に、私が追分公民館で発言したこと、役場機能の分散として「旧三笠ホテルを観光経済課が活用（大津市の町屋活用が参考）」、そのほか中軽井沢図書館に生涯教育課など、新庁舎機能の町内分散と床面積のさらなる削減は可能だと思います、それが可能であれば、そしてDXの見当も具体的にやることでさらなる新庁舎のコスト削減とスペースの有効活用、災害リスク体制の町内分散ができませんでしょうか、ぜひ検討をお願いできればと思います。 https://www.city.otsu.lg.jp/material/files/group/16/touzitusiryoku.pdf（このほか大津市町屋で検索するといろいろ出てきます） ・「公民連携まちづくり実践（学芸出版社）」：元大津市長が町屋を活用した事業などケース紹介が具体的で旧三笠ホテルの活用などにすごく参考になると思います。 13. 最期に、総合政策課の方は大変だと思いますが、職員、町民の知恵をいかすことでより良い新庁舎ができることを祈っています。 	<p>貴重なご意見として承ります。</p> <p>委員会の運営については、今後もよりよい検討ができるように改善しながら、新庁舎等の議論を深めてまいります。</p>
	40	<p>令和3年8月～9月に実施したプロポーザル選考プロセスについて、そもそもこれが公正に行われたかについて、疑義があります。町は同年12月に結果とマスターアーキテクトによる講評をホームページにて発表していますが、一次選考通過者7社に対する各委員の採点がこうであったから、最優秀が山下三浦、次点が坂茂なのだという結果に至った途中の個別の採点、各委員による評価を公開していません。当時の委員は團氏、藤巻前町長はじめ8名ですが、個々の委員がそれぞれどういった採点をしたから最優秀は山下三浦です、という採点、評価は公開すべきではないでしょうか。それをせずに、今後の時間短縮と團氏のアドバイスのみから「今後も設計は山下三浦で行く。再プロポーザルプロセスは踏まない」は、あまりにブラックボックス過ぎませんか？</p> <p>土屋町長が着任してから建築敷地の前提も変えました。12月12日の時点で山下三浦に以前の前提での再プレゼンテーションをさせる意味もよく分かりません。前回プロポ内容から敷地変更後の新プランのプレゼンへと流すことによって、新委員の説得を図るという意味なのかな、と解釈しました。町が團氏の言いなりにやっているだけのように見えます。</p> <p>建築家とか設計者とか、そういう建築関係者による説明から入るのではなくて、新庁舎に入れるべき機能（組織と人員）から議論していく、バリュー・エンジニアリングから入ることがまずは必要なのではないでしょうか？ 12月12日委員会の動画の質疑でもありましたが、集中か分散か、のような立地や規模に関する基礎的議論も必要かと思っています。</p>	<p>プロポーザルの選考プロセスについては、当然ですが公正に行われており、問題はないと考えておりますが、ご意見の疑義が生じないためにも、個別の採点等についてHPで公開させていただきます。また、今後はこれまで情報公開してこなかった部分につきましても積極的に公開してみたいです。</p>

カテゴリー	番号	上段（これまでの設計事業者と事業の見直しを行うことについての意見） 下段（庁舎改築周辺整備事業全般についての意見）	町の考え方
プロセスについて	41	<p>プロポーザルで次点になった優秀提案者の株式会社坂茂建築設計と協議を行い、見直しを行うことがよいと思います。HPに参考資料としてある「本事業のこれまでの経過」には、プロポーザルの結果を最優秀提案者の山下設計・三浦慎建築設計室設計共同体としか記載されていません。</p> <p>プロポーザルでは次点も選んでいるので、次点になった優秀提案者の株式会社坂茂建築設計も記載した方がよいと思いました。</p> <p>プロポーザル実施要項では、「最優秀提案者との協議が不調となった場合には、優秀提案者と協議を行い、協議が整った場合に契約を締結することとする。」と記載があります。</p> <p>プロポーザルは、基本計画・基本設計策定委託が業務であり、履行期間は令和5年3月31日までであり、委託金額の約1億円は支払い済みなので、今回のプロポーザルでの業務は完了していると思います。</p> <p>今後、この基本設計をどのように活用するかは町の自由なのではないかと思いました。</p> <p>通常なら、実施設計をそのまま随意契約で、山下設計・三浦慎建築設計室設計共同体が行うことになるのかもしれませんが、今回は、敷地形状が変わり・複合施設が公民館機能拡充施設へと変更になり、振り出しに戻って基本計画・基本設計の見直しを行うことになるので、設計者も見直し、プロポーザルで得られた次点案・設計者(株式会社坂茂建築設計)と今後進めていくのが自然の流れなのではと思いました。</p> <p>(プロポーザルで最初に選ばれた設計者の業務は完了しています。見直し以降をまた同じ設計者に町からお願いする理由はないと思います)</p> <p>今までの期間と設計料で、予算オーバーなどで案をまとめきれなかった設計者の能力を鑑みて、見直し以降は、次点になった優秀提案者の株式会社坂茂建築設計と契約を締結するのがよいと思います。</p> <p>もし、最優秀提案者が辞退しない限り、次点の優秀提案者と契約を締結することができないということでしたら、プロポーザルからやり直し、新たな設計者を選ぶのがよいと思います。</p> <p>(プロポーザルで選んだ、基本計画・基本設計策定委託の業務は、支払いも含めて全て完了しているので、辞退という概念は存在しないと思いますが)</p> <p>マスターアーキテクトの團さんも言っていますが、私も当初の案は評価していましたが、見直し検討案は残念なものでした。</p> <p>見直しに半年以上もあったのに、今までの説明や一般的な話を中心に退屈でした。説明に熱意が感じられませんでしたし、質問への回答態度はいい印象を受けず応援したいとは思えませんでした。</p> <p>■見直し委員会について 庁舎改築周辺整備事業検討委員会の委員長でありプロポーザルの審査委員でもあった方が、見直し委員会の委員長もしているのには、違和感があります。 新しいメンバーが見直しをした方がよいと思います。</p> <p>■これから進める見直しの基本設計料について 今後決まる新たな設計者との見直しの基本設計料は、改めて前回同様の基本設計料約1億円を支払うのでしょうか？ それとも、引き続き山下設計三浦慎JVが設計を続ける場合は、実施設計料の中に見直し業務も込みとして作業をするのでしょうか？（見直し作業料は無料なのでしょうか？） 見直しの基本設計料(約1億円)が改めて支払われるのなら、次点の坂茂さんが設計をしても問題ないのではと思いました。</p> <p>■建物形状と配置について 当初の案は、くびれた敷地を利用して形をうまく作っていますが、敷地が正形になったら合わないようになったと思います。 将来、病院を建て替える時に、町役場と同じようなデザインにするというパースもありましたが、建物形状が複雑なので、敷地に無駄スペースが生まれやすくなると思いました。病院の形もいびつなので、合理的な間取り配置は難しいのではと思いました。 町役場の間取りも現状の細かいことに対応し過ぎて、将来のフレキシビリティがないのではと思います。外形も複雑なので、メンテナンスかかるのではと思います。</p> <p>せつかく敷地が正形になるのに、無理したデザインや建物配置により、無駄スペースを多く作り出し、50年後の改築の際に困るような計画は止め、質実剛健なシンプルな構成にした方が将来の為によいと思います。</p> <p>■次点の優秀提案者の株式会社坂茂建築設計の提案書について 町役場が国道沿いに建てられるので、敷地のくびれた部分があるとなかろうと関係なく計画できます。部屋配置はわかりやすく、構造はシンプルと二次審査の動画でも言っています。 シンプルな長方形なので、工事金額の調整もしやすいのではと思います。使い勝手もフレキシブルに対応できると思います。 (提案時は屋根を全てソーラーパネルにしているのでマイナスになったと團委員長の審査講評に書いてありますが、現状の山下設計三浦慎JV案は本体屋根にはソーラーパネルをのせてなく、駐車場などで対応すると言っていたので、坂茂案も同じように屋根にソーラーパネルをのせなければ同じなのではと思います) 公民館機能拡充施設もA分棟案でもB一体化案でもC公民館改修案でも、坂茂さんなら利便性のよいシンプルでありながら、軽井沢町にふさわしい庁舎（未来の軽井沢町に対するビジョン）になるのではと思います。 将来の病院建築も、正形な残地で、シンプルな建物にすることができると思います。 坂茂さんは、被災地支援（ダンボール紙管によるパーティションなど）を世界中でやられているので、災害時のパートナー（NPO Voluntary Architects' Network）としてもいいのではと思います。建築界のノーベル賞といわれるプリツカー賞も受賞され、エコ建築にも優れているので、軽井沢町には最高の建築家だと思います。</p> <p>■最後に 次点になった優秀提案者の株式会社坂茂建築設計に依頼できないのであれば、プロポーザルからやり直し、新たな設計者を選ぶのがよいと思います。 今回の見直しをチャンスと捉え、うまく生かして欲しいです。 より使いやすく、敷地も有効活用できる未来の軽井沢町に引き継ぐ素敵な庁舎になることを願っています。</p>	<p>貴重なご意見として承ります。</p>

カテゴリー	番号	上段（これまでの設計事業者と事業の見直しを行うことについての意見） 下段（庁舎改築周辺整備事業全般についての意見）	町の考え方
プロセスについて	42	<p>1. 「『現在の設計事業者と見直しを行う場合とプロポーザル（設計事業者の選定）からやり直す場合とのスケジュールの比較』によると、最低9カ月は後ろ倒しになる。」とあるが、後ろへ遅れるのでプロポーザルからやり直すのは思わしくない。と、ことさらバイアスをかけられているように感じてしまう。仮にプロポーザルからやり直す場合、後ろ倒しの発生や提案者への謝礼等が新たに発生することは致し方ないことであるから、その点ばかりを強調することはよろしくないと思う。</p> <p>2. 「プロポーザルは、前回と同様の要件（全国からの公募・一次審査・二次審査など）で実施を想定しています。」とあるが、土地の形が大きく変わる可能性が高い点から考えると、当時との設定条件が変わってくるのであるから、その点から考えると、改めてのプロポーザルの必要性という意見が出てもおかしくないと思う。</p> <p>3. とはいえ、既に実施されたプロポーザルは正規の手続きを踏んでいる訳であるから、その点を無視するわけにはいかないと思うが、いずれにせよ、時間が遅れるから、費用が増えるから、といった理由で、再プロポーザルを排除する考え方は望ましくないと思う。</p> <p>1. 委員会のLIVE配信があったことは知っているが、文字としての議事録の公開など、透明性・迅速性を高めていただきたい。</p> <p>2. 庁舎と複合施設を同時に進めることは賛成だが、庁舎は職員から見ての機能性や使いやすさを重視しシンプルなものではないかと思う。その点、複合施設については住民が使うということを大いに意識して、住民意見を出来る限り反映させるということが望ましいのではないかと。、</p> <p>3. 「マチにわ」や「もりのえんがわ」といったコンセプトはよいと思うが、現実的な回遊性を考えると、人が集まってきている場所を整えるのではなく、集まった際にどうか？といった課題があると思うので、そうした点は外構工事や緑化・公園化のような方向性で考えたらいかがか。屋外にキッチンカーなどが泊まれるような広場を形成するなどであれば、それほど大きなコストにもならないのではないかと思う。</p>	<p>ご意見にある時間や費用だけを理由にしている訳ではなく、あくまでやり直すとした場合の情報を整理したものとご理解をいただければと思います。</p> <p>また、議事録については、できるだけ迅速に公開をしてみたいです。</p> <p>その他庁舎や公民館機能拡充施設等についても、貴重なご意見として承ります。</p>
事業の推進方法等について	43	<p>本議題の争点でもあった町長選の際は見直しに賛成だった。しかしながら見通しが甘かったのは価格上昇が止まらず、無期限凍結が正しいと思い、コスト面だけでいえば、この今ひと時も無駄な時間をかけていられないと反対とも思う。</p> <p>長期的に子供達に未来として価値あるものを残していきたい。そのための議論に時間を有するのであれば歓迎する。何故町長のスピードを感じられないのか、それを信頼して民意が出たのであれば思う存分發揮してほしい。</p> <p>今も信頼感は失っていない、私はそう感じる。</p> <p>私は町内で事業を営ませていただいております。</p> <p>この数年感じるのは豊富にある財源の一部でもある別荘は果たして10年後今まで通りの数を保っていられるのか疑義を抱いている。</p> <p>次の世代に残さず軽井沢を去るお客様が多い。</p> <p>我々も別荘客をメインターゲットにした事業を2019年ごろに20年と見立てたが、毎年その見立ては『3年』ずつ短くなっている。</p> <p>本社がこの町にない企業が売られていく土地を買い、事業をするのであればこの町の実入は先細ると考える。</p> <p>是非この町で生を受け、成長していつの日か子供達に残せる建物を、残せる町のプライドや、チャーミングポイントを一番に考えて欲しい。</p> <p>未来にこの町が今の資金豊富な体裁を維持していられるのかわからないため、今お金をかけなくても、合わせて将来に大規模なお金をかけることないよう、その時代に合わせた何十年後もリフォームしながら状況に合わせて形を変えていく建物でも良いと思う。暑くなるのか寒くなるのか、天災がくるかも誰にもわからない。そのためには基礎はしっかりしたものや変更が容易にできる建物を望む、何故ゼブからゼブレディに変更されたのか理由が知りたい。</p> <p>何故、ここまで時間がかかっているのか知りたい。</p> <p>想いを言語化できるのがこの町に縁がある者の務めであり、それが得意なものこの町に縁がある者に与えられた能力と思う。</p>	<p>ご意見にあるように、未来の子供たちに価値のあるものを残せるよう事業を推進してまいります。</p>
	44	<p>軽井沢在住の建築家三浦慎さんにおねがいしたいと思います。</p> <p>奇抜な景観やチープな雰囲気にならないようにしてほしいです。</p>	<p>貴重なご意見として承ります。</p>
	45	<p>軽井沢在住の建築家三浦慎さんに引き続き、事業を務めてほしいです。期待しています。</p> <p>軽井沢らしい歴史と文化を誇る格式のある町づくりに期待します。</p>	<p>貴重なご意見として承ります。</p>
	46	<p>これまでの設計者と継続して計画するという意味で賛成です。</p> <p>マーケットへ供給された貨幣がリーマンショック以降3倍に膨れ上がり、貨幣価値が急速に落ちていることにより、数字が上がってゆくことは当たり前のことだと思えます。50年前に価値の低い庁舎を作ったことで、立て直しが必要となり、そのために数十名の建築家を動員し取りまとめたプロポーザルと考えます。価値のあるものを作ることが良いと思えます。その経緯が理解できないことは人間の悲しさです。経済状況を開示の上でしっかり良いものを作れば良いと思えますが、人間社会の欲と嫉妬による瑣末な人間模様を考えると、建築家もこのような町の仕事を断ってしまうくらいでも良いと思えます。軽井沢町も地球環境を考え、今後永遠に一切の新築を取りやめるくらいの気概を持って動くのであれば応援します。</p> <p>これだけ文化資産がありながら、環境と道路問題意外にどんな町にしたいのかのアイデアが聞こえてこないことが残念ですね。軽井沢は日本の他の自治体に比べて困った経験がないのでそんな所でしょうか。</p>	<p>ご意見にあるように、価値あるものを造ったとっていただけるよう事業を推進してまいります。</p>
	47	<p>軽井沢町には、プロポーザルのプロセスを経て選んだ責任があると思うから、見直しになったとしても良く意見交換する必要がある</p> <p>災害時の拠点拠点機能が重要と思う。</p> <p>能登半島地震の教訓を活かすべき。</p> <p>電力の確保は最重要で太陽光発電設備は必須だと思います。</p> <p>停電の多い軽井沢地区の特性もあり、電力確保の方策を考えて欲しい。</p> <p>省エネルギーの施設であることが重要と考えます。</p> <p>断熱、気密性能が良い施設にしてください。</p> <p>アルミサッシ窓は論外だと考えます。</p>	<p>貴重なご意見として承ります。</p> <p>また、防災に関する考え方については、No.11をご覧ください。</p> <p>断熱等に関する議論については、ご意見も踏まえて設計事業者が決定した際に改めて具体的な検討をしてみたいです。</p>

カテゴリー	番号	上段（これまでの設計事業者と事業の見直しを行うことについての意見） 下段（庁舎改築周辺整備事業全般についての意見）	町の考え方
事業の推進方法等について	48	<p>まず、現在の設計者と見直しを行うかについて再検討をするという住民の合意形成を大切にする町の取組に感謝申し上げます。</p> <p>山下・三浦設計事業者は、経費削減などにおいて努力されていることは十分に伺えるので、事業の見直しもこの事業者で問題ないと考えます。もともと建築家は建築設計を芸術的作品と考える傾向があるので、事業者を変更しても期待するような大幅な事業費削減にならないです。むしろ、町が事業費の予算上限を定めてそれに収まるよう建築家に強く強く要望すればよいと思います。</p> <p>同一の設計事業者ということに対して失望感を持った町民が少なくないのは、周辺整備事業も含む高額な事業費に対するアレルギーがあるからです。ワークショップ（2022年9月3日）でも庁舎の建て直し一切不要という声がありました。とは言っても、実際のところ耐震対応だけでなく職員数の割に手狭な庁舎面積や車椅子対応など、当然のことながら現行の庁舎には改装工事が必要です。一方、DX時代を迎え来庁いらずの行政手続やオンライン診療の流れのなかで庁舎及び軽井沢病院を含めた周辺事業の改築に多額の町税を使うことへの違和感も大きいです。</p> <p>また、浅間山噴火があることを想定すると、噴火による被害だけでなく、観光客の激減で町の経済は大きな打撃を受けます。それに備えるためにも財政調整基金の積極的な積立が求められます。そのようななかで、庁舎の純粋な改築を超えた周辺整備事業のために町債を長年に亘って発行することに抵抗感を持つ町民は多いです。</p> <p>DX時代にアナログ的な交流の場などを新たに設けて経費をかける必要性は乏しいです。交流の場は、町の既存の公民館等の建物で十分です。どうしても交流ということであれば、庁舎を現在の中軽井沢でなく軽井沢駅の徒歩圏に建設すべきです。軽井沢駅なら交通の要として幅広い交流の場もありうると思います。もちろん、今更、軽井沢駅周辺はありえないことは承知しております。</p> <p>国際親善都市にふさわしい庁舎という考え方も理解できないわけではありませんが、今はそのようなお祭りの時代ではないです。見直しの検討においては、「しかけづくり」ではなく、できるだけコストを抑え、環境に配慮し、シンプルでコンパクトなSDG s型庁舎を目指して頂きたいです。</p>	貴重なご意見として承ります。
	49	<p>未来を見据えた執務環境などを整えるのは重要なので反対はしない。がしかし、まずやるべき事があるのではないのか。それを職員一人一人が理解しているのか疑問。</p> <p>町長を筆頭に職員一人一人が、行政サービス、接客、言葉遣いなど首都圏自治体と比べ、危機感がなく、かなり旧態依然としている現状に自覚があるのかが問題。10年以上前の首都圏、赤字自治体よりも、住民サービス、接客含めいまだに、比較するとレベルが追いつかない行政事務をいい加減改善して欲しい。</p> <p>例えば、子ども医療費の無料化（せめて高校卒業まで）、生活道路の幅員計画の酷さ（一路線ごと全てのセットバック計画がないからなのか凸凹セットバックなど）、道路不法占用の指導改善、高齢者や障害者支援サービス（各種補助事業の少なさ）、各種土木関係図面の電子化及び電子交付、電子申請対応サービスの少なさ、町の行政評価及び人事評価制度の内容が不明、ホームページのわかりにくさ、関連事務へのリンクの無さ、細かな提供情報の少なさ、わかりやすい情報公開用の全ての課のファイル基準表の整備、その他要綱行政etc、遅れている幅広い業務がありキリがない。</p> <p>軽井沢町独自のサービスもあるが、例規集及び要綱全て見ると、法令上乘せ行政サービスがほぼ遅れている。</p> <p>交付金未交付団体にもかかわらず、住民サービスがいまだに追いつかないのは問題ではないのか。</p> <p>庁舎改築及び関連整備は不必要とは言わない。庁舎改築をする以上、住民サービスが第一に改善されるのが当たり前である。それに見合う行政サービス、最低でも首都圏赤字自治体以上の行政サービスを一緒に整える事が、進める上での最低条件ではないのか。</p>	職員の資質については、再度襟を正して職務にあたってまいります。また、行政サービスについても貴重なご意見として承ります。
今後の予測について	50	<p>1. 軽井沢町の将来をどの様に捉えているのか、10～20年後の姿をお教えて欲しい</p> <p>中山総合政策課長は ○将来の人口推計を出し、それを踏まえた中で、庁舎建設予定を進めている。 ○庁舎を建て、年2～3億円の返済をしても、18年後に影響を与えないと捉えている。 と言っていますが、であれば (1)統人口の男女別、年齢構成別の推移 (2)税収増減を含む、町の中長期的な収支等を年次毎に示して欲しい。</p> <p>2. 現在、庁舎改築周辺整備事業見直し委員会に於いて基本方針、基本設計の見直し、住民との合意形成を図るべく努力されていると思うが、「特別委員会レポート」を読むと、既に実施設計については、山下・三浦JVに決定したと思える。内容は1月25日の「議会だより」に掲載されるが、「この場所に建てるということ」を最も理解し、病院あり、浅間山もあり、湯川も流れているという中で立地条件を生かした提案に対する評価は覆るものではない。ただし、住民の合意形成が不十分で、そこは丁寧に説明を尽くし、推進委員会を広くホームページ等で公開しながら、丁寧な合意形成を進めてきている。町としては一旦山下・三浦JVでやらしてもらいたいという方針を出している、と言われてます。これでは、何を凍結し、何を見直したのか全く理解が進みません。</p> <p>「庁舎改築周辺整備事業見直し委員会に山下、三浦JVが参画している理由として、委員長の説明では「基本設計を行った会社であり、状況が十分分っているの」で、町の依頼に応じて、無料でサポートしてくれている」、それ以上でもそれ以下でもない。と説明がありました。町が必要ありと思うのなら、何故無料でやらせるのか理解出来ません。既に実施設計会社に裏では決まっているという事であれば、大変不愉快な話です。</p> <p>是非、意志決定のプロセスの透明性を上げて、コンパクトで機能的、実用的な庁舎を望みます。「森の中の庁舎」には大反対です。</p> <p>軽井沢全体が緑にかこまれる事を期待します。</p>	本事業は、町の最上位計画である長期振興計画に基づいて進めておりますし、まちづくりと密接なつながりがありますので、ご意見を踏まえて、今後そういったことも含めて情報を発信してまいります。
	51	<p>庁舎は住民のニーズに過不足なく応えるための自治体業務を行うために存在します。住民が庁舎に出向くニーズが今後の高齢化・DX社会でどのように変化してゆくかの予測が必要です。職員の業務も従来の「課」分類するのではなく住民ニーズに対してはマルチタスク可能な職員育成を図り、国道付近に集中するコンビニで解可能な業務を含め、部落・区ごとに存在する公民館にマルチタスク職員と端末を配置して住民が近くの公民館で大概のニーズを満たせるようにすることが庁舎問題の大前提であると考えます。将来的には電子自治体化で住民の電子端末で多くを解決できるように志向すべきです。</p> <p>そのうえで必要な庁舎および周辺複合施設については、住民や住民諸団体が自由、安価に使うことができる多様な付属設備や機器を備えたパブリックスペースの多様な充実を希望します。</p> <p>庁舎は災害時の緊急避難設備になることを想定して設計します。</p> <p>いかなる構築物についても、建設費用だけでなく、向こう100年程度をめぐりに生涯維持管理費用を同時に算出して総費用で評価すべきと考えます。とくにすでに提案されている維持管理エネルギーのZEB化にあたっては、総費用で説明しないと住民の理解が得られないと思います。</p> <p>自治体の宝である道路管理・建物インフラ、上下水・衛生・災害対策等に係る専門職員の専門性を高めるための知識習得のスペース・および必要な諸設備を収納するためのスペースも庁舎の一部と捉えるべきと考えます。これらについて、設計者がどのように考えているか、再確認が必要と考えます。</p>	ご意見のとおり、将来の予測は大切な要素であると考えておりますので、事業を進める際には併せて検討してまいります。